

お読み替えガイド

(形名 PCF-AN370B 用)

HITACHI
Inspire the Next

■ 主な内容 (詳しくは本書をご覧ください)

- テレビチューナーボード : 搭載されていません。
- アンテナ接続ケーブル : 添付されていません。
- FDD : 搭載されています。
- ワイヤレス LAN : 搭載されています。
- アプリケーションソフト : 一部変更されています。

Prius Air Note L

マニュアルはよく読み、保管してください。

■ 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■ このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

はじめに

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

このパソコンは、Prius Air Note L（形名 PCF-AN37LT）をベースに仕様を変更したオリジナルモデル（形名 PCF-AN370B）です。

本書では、添付のマニュアルの内容と異なる部分について説明します。

異なる内容

このパソコンは、ベースのモデルと比べて次の点が異なります。

- ・テレビチューナーボードが搭載されておりません。
- ・アンテナ接続ケーブルが添付されておりません。
- ・FDD が搭載されています。
- ・ワイヤレス LAN が搭載されています。
- ・プレインストールされているソフトウェアが、一部変更されています。
- ・パソコンの仕様が一部変更されています。

これにより、添付のマニュアルに記載されているイラストと形状が若干異なります。詳しくは、本書「パソコン背面、左側面」をご参照ください。

添付のマニュアルなどで形名が PCF-AN37LT と記載されている箇所は、すべて PCF-AN370B にお読み替えください。

お読み替えいただくときは、添付のマニュアルとあわせてご使用ください。

■ 『準備しよう！ Prius』

- ・本モデルには、アンテナ接続ケーブルが添付されておりません。アンテナ接続ケーブル、アンテナ端子、アンテナ線についての説明は、お読み飛ばしてください。
- ・「2章 いろいろな使い方をするために」、「テレビを見たい方は」
本モデルには、テレビチューナーボードが搭載されておりません。お読み飛ばしてください。
- ・「2章 いろいろな使い方をするために」、「パソコン背面、左側面」
本書「パソコン背面、左側面」に読み替えてください。
- ・「2章 いろいろな使い方をするために」、「インジケータランプの見方」
本書「インジケータランプの見方」に読み替えてください。
- ・「2章 いろいろな使い方をするために」、「ワンタッチキーの機能」
本書「ワンタッチキーの機能」に読み替えてください。
- ・「2章 いろいろな使い方をするために」、「FD の入れ方 / 取り出し方」
本書「FD の入れ方 / 取り出し方」に読み替えてください。

■ 『プリウスナビを楽しもう！』

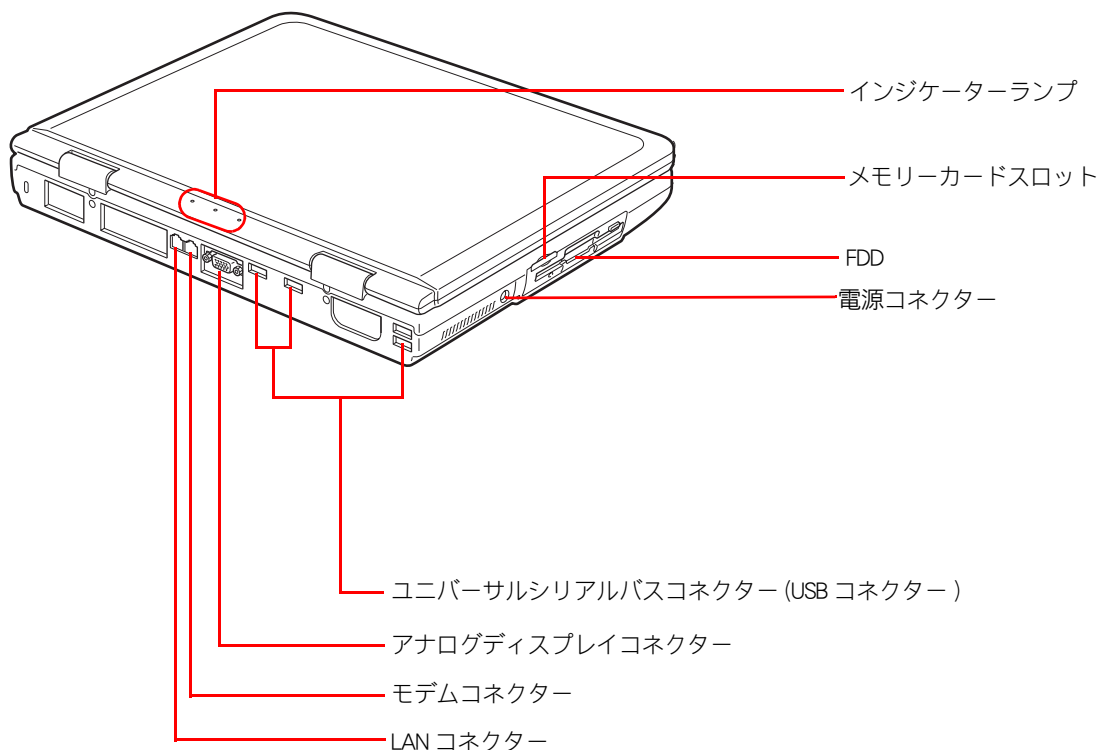
- ・プレインストールされている電子マニュアルや『活用百科』CD 内の電子マニュアルは、ベースモデル用のマニュアルです。添付の冊子マニュアルをご活用ください。
- ・添付の冊子マニュアルは、テレビ機能なし専用のマニュアルです。

■ 『パソコン応用』

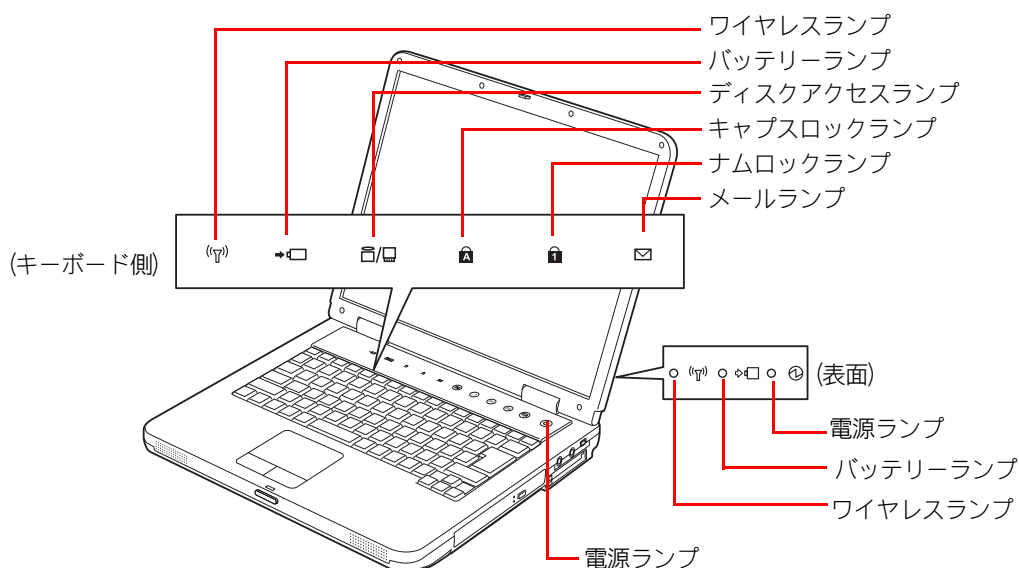
(電子マニュアルのみ、紙のマニュアルは添付されません。)

- ・「パソコンの信頼性について」
本書「電波について」、「無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関する注意」を追加して、読み替えてください。
- ・「1 章 応用操作」
本書「ワイヤレス LAN を接続する」を追加して、読み替えてください。
- ・「3 章 パソコンを拡張する」、「家庭用テレビを接続する」
S 映像出力端子が内蔵されておりません。お読み飛ばしてください。
- ・「4 章 セットアップする」、「アプリケーションの個別インストール」
本書「アプリケーションの個別インストール」に読み替えてください。
- ・「4 章 セットアップする」、「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」
「TV チューナードライバー」についての説明はお読み飛ばしてください。
- ・「4 章 セットアップする」、「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」
本書「3 モード FD ドライバー」を追加して、読み替えてください。
- ・「4 章 セットアップする」、「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」、「LAN ドライバー」
本書「LAN ドライバー」に読み替えてください。
- ・「4 章 セットアップする」、「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」
本書「ワイヤレス LAN ドライバー」を追加して、読み替えてください。
- ・「7 章 技術情報」、「パソコン仕様一覧」
本書「パソコン仕様一覧」に読み替えてください。

パソコン背面・左側面



インジケータランプの見方



※ヒント ● キーボード側にあるインジケータランプは、点灯時に各マークが浮かび上がります。

電源ランプ

点灯：パソコン電源 ON 状態
点滅：スタンバイ状態
消灯：パソコン電源 OFF 状態／休止状態

バッテリーランプ

点灯 (赤色)：バッテリーパック充電中
点灯 (緑色)：バッテリーパック充電完了
点滅 (赤色)：バッテリーの残容量が少ない
消灯：バッテリーのみでパソコン駆動中／バッテリーパックが取り外されている

ディスクアクセスランプ

点滅：HDD や CD/DVD ドライブがデータ読み書き中

キャプスロックランプ

[Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すと、切り替えられる
点灯：大文字のアルファベットが入力可能
消灯：小文字のアルファベットが入力可能

ナムロックランプ

[Shift] キーを押しながら [Insert] キーを押すと、切り替えられる
点灯：キーボードの青色の数字が入力できる

※ヒント ● キーボードの青色の文字は、0～9、+、-、*、/、などがあります。

参照 → キャプスロックについて→電子マニュアル『パソコン入門』1章の「キーを押してみよう」

メールランプ

点灯：メールが着信している

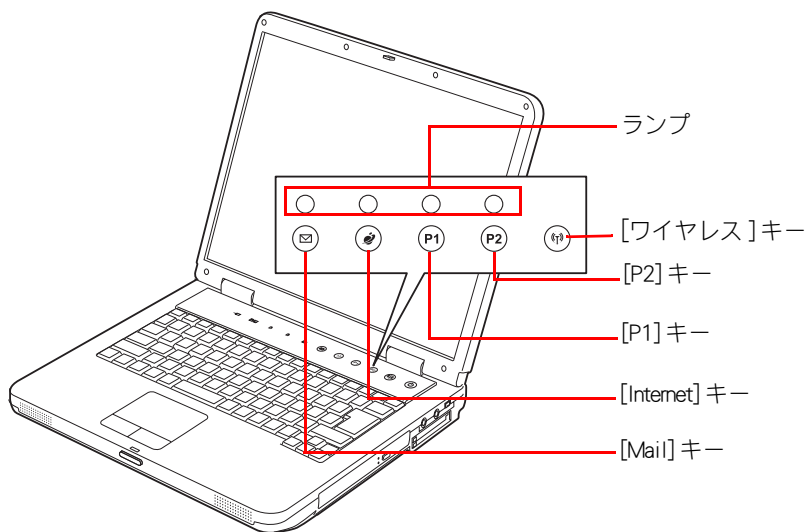
ワイヤレスランプ

点灯：内蔵無線 LAN が使用可能状態

消灯：内蔵無線 LAN が使用できない状態

ワンタッチキーの機能

キーに触れるだけでインターネットやメールができるキーです。



[Mail] キー

メールを受信するためのアプリケーション「Outlook 2003」を立ち上げます。

[Internet] キー

インターネットに接続してホームページを見るためのアプリケーション「Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）」を立ち上げます。

[P1] キー

電子マニュアル検索ソフト「CyberSupport for HITACHI」を立ち上げます。

[P2] キー

アプリケーションの使い方を紹介するガイド「Prius で楽しもう！」を立ち上げます。

[ワイヤレス] キー

内蔵無線 LAN の ON/OFF を切り替えます。

- 重要** ● 同時に複数のワンタッチキーに触れると、誤動作する場合があります。
- ランプが確実に点灯するまで、機動したいキーに触れてください。
- ※ ヒント** ● ワンタッチキーで立ち上げるアプリケーションは変更できます。ただし、[ワイヤレス] キーは変更できません。



「インターネットエクスプローラー」について→電子マニュアル『始めよう！インターネット』の2章「ホームページを見てみよう」

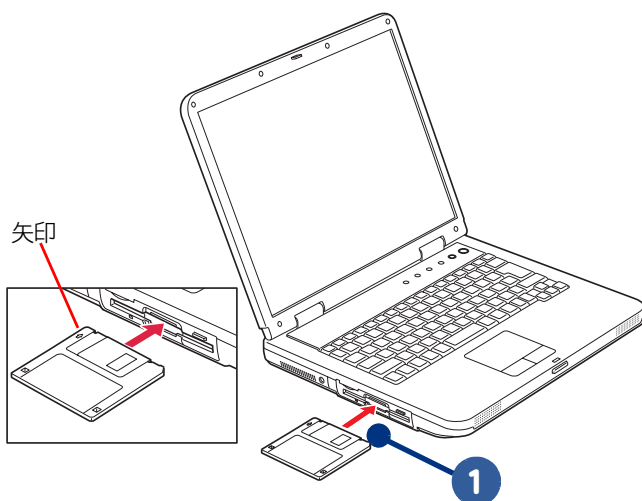
「Outlook 2003」について→電子マニュアル『始めよう！インターネット』の3章「メールを使ってみよう」

ワンタッチキーの変更方法→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」

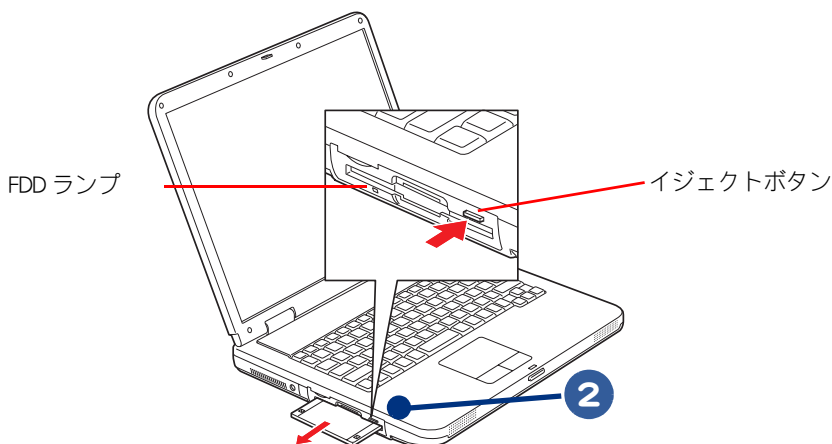
FDの入れ方／取り出し方

ここでは、FDの入れ方、取り出し方について説明します。

- 1 FDの表側（ラベルをはる面）を上に向け、矢印をFDDに向け、「カチッ」と音がするまで押し込む



- 2 FDDランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押す



- FDDランプの点灯、点滅中にFDを出し入れすると、FDDまたはFDが壊れることがあります。
- パソコンの電源を切るときは、FDを取り出してからにしてください。FDを入れたまま電源を切ると、FDが壊れることがあります。また、FDを入れたまま電源を入れると、パソコンが立ち上がらないことがあります。

- 3 FDが出てくるので、FDDから取り出す

電波について

本製品の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。次項に注意してください。

- ・ 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ・ 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- ・ その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などがおきたときは、弊社のお問い合わせ先にご連絡ください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	OFDM 形式、DS-SS 方式
想定干渉距離	40m
周波数変更の可否	全体域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(IEEE802.11a/b/g)



- ・ 802.11a の規格による通信は、電波法により、屋外での使用が禁じられています。（屋内のみ使用可能です）

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
 - ・ ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 - ・ メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - ・ コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様がご自分で対処できない場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

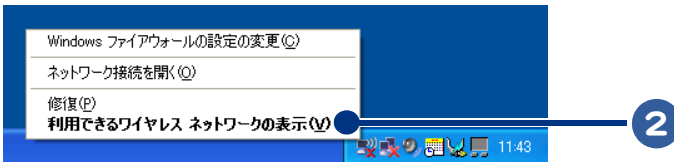
ワイヤレス LAN を接続する

ワイヤレス LAN を設定すると、アクセスポイントに接続されているネットワークへアクセスすることができます。ここではアクセスポイント 機器への接続方法を説明します。

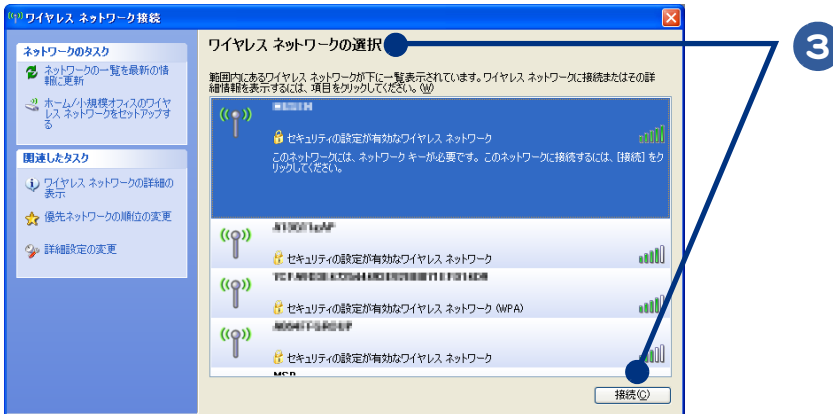
- ※ ヒント**
- ワイヤレス LAN を接続するには、アクセスポイントの設定が必要です。設定方法はアクセスポイントに付属のマニュアルをご参照ください。
 - アクセスポイントの電源を入れ、通信可能な距離で設定してください。
 - ワイヤレス LAN 通信機能は、ご購入時には OFF の状態になっています。

1 [ワイヤレス] キーを押して、ワイヤレス LAN 通信機能を ON にする

2 タスクバーにある [ワイヤレスネットワーク接続] アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリック



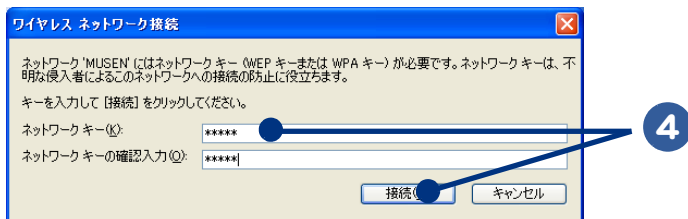
3 受信可能なアクセスポイントが [ワイヤレス ネットワークの選択] に一覧表示されるので、接続したいネットワークを選択し、[接続] ボタンをクリック



- ※ ヒント**
- [コントロールパネル] - [ネットワーク接続] - [ワイヤレスネットワーク接続] の [プロパティ] 内の [ワイヤレスネットワーク] タブでも設定できます。
 - ワイヤレスネットワークが見つからない場合は、[ネットワークの一覧を最新の情報に更新] をクリックします。

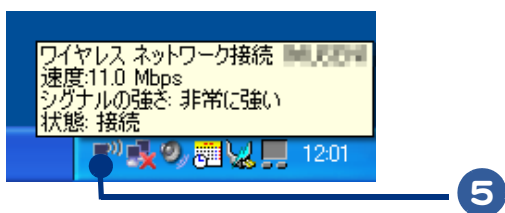
4 ネットワークキーの設定が必要な場合は、ネットワークキーを入力し、[接続] ボタンをクリック

ワイヤレス LAN がアクセスポイント機器に接続されます。



5 [ワイヤレスネットワーク接続] アイコンをクリック

[ワイヤレスネットワーク接続の状態] が表示されます。



6 [全般] タブの「シグナルの強さ」の緑のアンテナが4本以上表示されていれば良好な接続状態

※ ヒント ● [サポート] タブの [詳細] ボタンをクリックすると「IP アドレス」や「物理アドレス (MAC アドレス)」が確認できます。

7 [閉じる] ボタンをクリック



重要 ● アクセスポイントが見つからない場合や「シグナルの強さ」の緑のアンテナが少ない場合は、一度パソコンとアクセスポイントの電源を切り、近づけてから再度設定を行ってください。
● IEEE802.11a のチャンネルは 34/38/42/46ch です。IEEE802.11b のチャンネルは 1ch ~ 14ch です。IEEE802.11g のチャンネルは 1ch ~ 13ch です。アクセスポイントのチャンネルをこの範囲に設定してください。

アプリケーションの個別インストール

アプリケーションは、HDD イメージや『再セットアップディスク (Disc1)』、各ソフトウェアに付属の CD を使ってインストールします。インストールで特別な制限や設定が必要なアプリケーションは、次の表の「設定」に○印があります。内容は「各アプリケーションの制限や設定」をご参照ください。

重要 ● アプリケーションをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）で行ってください。

ヒント ● 表の「一括インストール」に○印があるアプリケーションは、『再セットアップディスク (Disc1)』の「一括インストール」でもインストールできます。モデルによっては○印がない場合があります。
● 表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にインストールされています。
● 表の「インストールプログラム」は、各アプリケーションを個別にインストールする場合のプログラム収録ディスクを表します。

- ・ HDD イメージからのインストール
- ・ 『再セットアップディスク (Disc1)』からのインストール
- ・ 『アプリケーションディスク』からのインストール
- ・ 付属の CD からのインストール

アプリケーション一覧		設定	一括インストール	購入時	インストールプログラム
		○：必要 －：不要	○：可能 ×：不可	○：有り ×：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップ ディスク (Disc1) CD：付属の CD
Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack 1)		○	×	○	CD(Microsoft® Office Personal Edition 2003)、HDD
Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack 1)		○	×	○	CD(Microsoft® Office Home Style+)、HDD
Prius Navistation3	Prius Navistation3	－	○	○	DVD
	メール着信設定 * 1	－	○	○	DVD
WinDVD 5 for HITACHI		○	○	○	DVD
DVD MovieWriter 3.5 for HITACHI		○	○	○	DVD
DVD-Movie AlbumSE4		－	○	○	DVD
DVD-RAM ドライバー		○	○	○	DVD
3 モード FD ドライバー		○	×	×	DVD
Dragh Drop CD+DVD	Dragh Drop CD+DVD 4 for HITACHI	○	×	×	HDD
	安心楽々引越しパック * 2	○	×	×	HDD
	ノークリックバックアップ Auto-Grabber * 2	○	×	×	HDD
RecordNow! 7.3		○	○	○	DVD
MedialMarina		○	×	○	CD(アプリケーションディスク)
Adobe Photoshop Album 2.0 Mini		－	×	○	CD(アプリケーションディスク)
Java™2 Platform Standard Edition Runtime Environment Version5.0		－	○	○	HDD
FlashMaker		○	×	○	DVD
ホームページミックス R.2		－	×	○	CD(アプリケーションディスク)
goo スティック		－	○	○	CD(活用百科)
Macromedia® Shockwave®		－	○	○	CD(活用百科)

アプリケーション一覧		設定	一括インストール	購入時	インストールプログラム
		○：必要 －：不要	○：可能 ×：不可	○：有り ×：無し	HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップ ディスク (Disc1) CD：付属の CD
Macromedia® Flash® Player		－	○	○	CD(活用百科)
オンライン サインアッ プソフト	DION	○	○	○	CD(活用百科)
	@nifty	○	○	○	
	AOL	○	○	○	
	BIGLOBE	－	○	○	
	isao.net	－	○	○	
	OCN	－	○	○	
	ODN	－	○	○	
	So-net	○	○	○	
Norton Internet Security 2005		－	×	○	CD(アプリケーションディスク)
筆ぐるめ Ver.12 for HITACHI		○	×	○	CD(アプリケーションディスク)
AI 囲碁 for HITACHI		○	○	○	DVD
AI 将棋 for HITACHI		○	○	○	DVD
AI 麻雀 for HITACHI		○	○	○	DVD
ネットワーク切替ユーティリティ		－	○	○	DVD
Adobe Reader		－	○	○	CD(活用百科)
CyberSupport for HITACHI		－	×	○	CD(活用百科)
マウス吸着		－	○	○	DVD
画面拡大		－	○	○	DVD
わくわくナビ		－	○	○	DVD
Prius ツール	Prius サウンド REC	－	○	○	DVD
	Prius で楽しもう！	－	○	○	DVD
	Prius 四字熟語	－	○	○	DVD
	Prius 一文字	－	○	○	DVD
	Prius 筆算	－	○	○	DVD
	Prius デカ文字ツール	－	○	○	DVD
	Prius かんたんファイル メール	－	○	○	DVD
	Prius かんたん PC 設定	－	○	○	DVD
	Prius かんたんファイル サーチ	－	○	○	DVD
	自動ログオン設定 プログラム	－	○	○	DVD

* 1：Prius Navistation3 をインストールすると、同時にインストールされます。

* 2：Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI をインストールすると、使用できるようになります。

3 モード FD ドライバー

本ドライバーは、通常のご使用の際には必要ありません。1.2MB でフォーマットされた FD を使用する場合にインストールしてください。また、1.2MB の FD はフォーマットできません。
本ドライバーは、ご購入時にはインストールされておられません。

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] - [システム] アイコンをダブルクリック

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

*** ヒント** ● [コントロールパネル] 画面は、「クラシック表示」で説明しています。[コントロールパネル] に [システム] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

3 [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリック

[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。

4 [フロッピーディスクコントローラ] の [標準フロッピーディスクコントローラ] をダブルクリック

[標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ] が表示されます。

5 [ドライバ] タブをクリックして、[ドライバの更新] ボタンをクリック

[ハードウェアの更新ウィザードの開始] 画面が表示されます。

6 [いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] ボタンをクリック

7 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] ボタンをクリック

8 [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] ボタンをクリック

9 [ディスク使用] ボタンをクリック

[フロッピーディスクからインストール] 画面が表示されます。

10 [製造元のファイルのコピー元] に、e:¥drivers¥3mode と入力して [OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

11 [Hitachi 3mode Floppy Disk Controller (TypeE)] を選択して、[次へ] ボタンをクリック

[ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されます。

12 [完了] ボタンをクリック

[Hitachi 3mode Floppy Disk Controller (TypeE) のプロパティ]画面が表示されます。

13 [閉じる] ボタンをクリック

[デバイスマネージャ]画面が表示されます。

14 [フロッピーディスクドライブ]の[フロッピーディスクドライブ]をダブルクリック

[フロッピーディスクドライブのプロパティ]画面が表示されます。

15 [ドライバ]タブをクリックして、[ドライバ更新] ボタンをクリック

[ハードウェアの更新ウィザードの開始]画面が表示されます。

16 [いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] ボタンをクリック

17 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] ボタンをクリック

18 [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] ボタンをクリック

19 [ディスク使用] ボタンをクリック

[フロッピーディスクからインストール]画面が表示されます。

20 [製造元のファイルのコピー元]に、e:¥drivers¥3mode と入力して[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

21 [Hitachi 3mode Floppy Disk Drive] を選択して[次へ] ボタンをクリック

[ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されます。

*** ヒント** ● [ハードウェアのインストール]画面が表示された時、「Windows ログテストに合格していません。」というメッセージが表示されますが、[続行] ボタンをクリックし、インストールを続けてください。

22 [完了] ボタンをクリック

[フロッピーディスクドライブのプロパティ]画面が表示され、[ドライバ]タブの「プロバイダ」に「Hitachi」が表示されます。

23 [閉じる] ボタンをクリック

24 パソコンを立ち上げ直す

LAN ドライバー

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

3 e:\drivers\lan\setup と入力し、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[REALTEK Gigabit and Fast Ethernet NIC Driver 用の InstallShield ウィザードへようこそ] が表示されます。

4 [次へ] ボタンをクリック

ファイルのコピーが開始され、終了後、[InstallShield ウィザードの完了] が表示されます。

5 [完了] ボタンをクリック

6 [コントロールパネル] を開き、[システム] アイコンをダブルクリック

7 [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリック

[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。

8 [ネットワークアダプタ] - [Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC]
- [詳細設定] タブの [Offload Checksum] の値を [Disable] に変更する

9 [ネットワークアダプタ] - [Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC]
- [詳細設定] タブの [Offload TCP_Largesend] の値を [Disable] に変更する

10 [OK] ボタンをクリック

ワイヤレス LAN ドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる
- 2 [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリック
[ファイル名を指定して実行] が表示されます。
- 3 `e:¥drivers¥wlan¥drivers¥setupwld` と入力し、[OK] ボタンをクリック
* e は CD/DVD ドライブ名
[インテル (R) PROSet for Wireless ドライバインストーラ] が表示され、ドライバーがインストールされます。インストールが完了すると、ウィンドウが閉じられます。

パソコン仕様一覧

パソコンの仕様を紹介します。

製品名	Prius Air Note L	
形名	PCF-AN370B	
インストール OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition (with Service Pack2)	
CPU	インテル® Celeron® M プロセッサ 340	
動作周波数	1.50GHz	
フロントサイド・パス	400MHz	
チップセット	インテル® 852GM	
キャッシュ	1次 (CPU 内蔵)	64KB (32KB 命令キャッシュ + 32KB データキャッシュ)
メモリー	2次 (CPU 内蔵)	512KB
RAM	標準メモリー (ヒント 1)	256MB (DDR SDRAM)
	最大メモリー	768MB
	ビデオメモリー	最大 64MB(DDR SDRAM) 自動可変、メモリーと共有
ROM	BIOS 512KB	
グラフィック : 液晶ディスプレイ	800 × 600 ドット時	65536 色 /1677 万色
	1024 × 768 ドット時 (ヒント 2)	65536 色 /1677 万色
HDD(ヒント 3)	約 80GB	
CD/DVD 対応ドライブ	DVD スーパーマルチドライブ (DVD+R 2 層書き込み対応)	
FDD	3.5 型 (1.44MB/1.2MB/720KB)	
カレンダー時計 (重要 1)	年月日、時分秒を刻時、刻時誤差 ± 180 秒/月	
スピーカー	2 個 ステレオ	
ディスプレイ (重要 2)	15 型スーパーアスタービュー液晶	
バックライト	冷陰極蛍光灯 1 灯	
キーボード	JIS 標準配列準拠 87 キー	
ポインティングパッド	静電式ポインティングパッド	
コネクター	アナログ ディスプレイ	1 個 VESA/DDC1/2B 準拠 (ミニ D-sub15 ピン)
	マイク	1 個 マイク: モノラルミニジャック
	ヘッドホン	1 個 ステレオミニジャック
	IEEE1394	1 個 4 ピン S400
	USB2.0	4 個
	モデム (重要 3)	1 個 DATA: 56kbps(V.90)/FAX: 14.4kbps
	LAN	1 個 IEEE 802.3 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
PC カードスロット	Type II × 2 または Type III × 1 JEIDA Ver4.2 準拠、CardBus 対応	
メモリーカードスロット (ヒント 4)	1 個	
電源	周波数	50/60Hz
	入力電圧	AC100V ± 10%
	電源プラグ	2 極差込型

製品名		Prius Air Note L
形名		PCF-AN370B
内蔵ワイヤレス LAN (重要 4)		通信速度最大 54Mbps IEEE802.11a/b/g 準拠 (11a : 34/38/42/46ch, 11b : 1ch ~ 14ch, 11g : 1ch ~ 13ch)
消費電力 (ヒント 5)	最大	69W
	定常	約 20W
	スタンバイ時	約 2.1W
省エネ法に基づく表示 (ヒント 6) 区分		S
エネルギー消費効率		0.00042
外形寸法 (ヒント 7)		330mm(W) × 275mm(D) × 45mm(H)
質量 (ヒント 8)		約 3.4kg (バッテリーパック装着時)
周囲温度 (重要 5)	動作時	5 ~ 35 °C
	非動作時	- 10 ~ 43 °C
	保存および輸送時	- 10 ~ 60 °C
周囲湿度 (重要 5)	動作時	20 ~ 80%Rh(結露しないこと)
	非動作時	20 ~ 80%Rh(結露しないこと)
	保存および輸送時	20 ~ 80%Rh(結露しないこと)
	最大湿球温度	25 °C

- ※ヒント**
- 1 : [コントロールパネル]-[システム]アイコン-[システムのプロパティ]でメモリー容量を確認できます。この容量は、実装容量からビデオメモリー容量分を引いた値です。
参照 → メモリーボードの詳細について → 「メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた」
 - 2 : 65536色は中(16ビット)、1677万色は高(24ビット)・最高(32ビット)です。液晶ディスプレイでは高(24ビット)・最高(32ビット)に設定した場合ディザリング表示になります。1280 × 1024ドット・1600 × 1200ドット時は、仮想デスクトップ表示モードになります。
 - 3 : 電源を切ると、HDDのヘッドは自動的に退避ゾーンに移動します。HDDの容量は、1GB=10⁹バイトで計算した場合の数値を表しています。
 - 4 : メモリースティック、メモリースティック PRO、SDメモリーカード、マルチメディアカードを1枚接続できます。また、著作権保護機能には、対応しておりません。
 - 5 : パソコンを使用しないときは、電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜かれることをおすすめします。待機時の消費電力を低減できます。
 - 6 : エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
 - 7 : 突起部を除いた値です。
 - 8 : バッテリーパック、DVDスーパーマルチドライブ実装時の質量です。

- ▲重要**
- 1 : 刻時誤差は、リアルタイムクロックの数値です。Windowsの時間とずれることがあります。
 - 2 : 液晶ディスプレイのバックライト部には、重金属の水銀が使用されています。内部の基盤やドライブなどのサブユニットには重金属の鉛が使用されています。
 - 3 : 内蔵モデムの通信速度最大 56Kbps は、データ受信時の最大速度の理論値です。内蔵モデムは日本国内専用です。海外では使用できません。
 - 4 : 54Mbps は、「ワイヤレス LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。内蔵ワイヤレス LAN は、日本の電波法に基づき設定されています。海外で使用すると、罰せられる場合があります。内蔵ワイヤレス LAN の Peer-to-Peer 接続はできません。
 - 5 : 長時間の非動作時から動作させる場合は、周囲の温度や湿度になじむまで時間を置いてからパソコンを立ち上げてください。

- ※ヒント**
- K(大文字)とk(小文字)の記載の単位は、K(大文字):1024、k(小文字):1000で換算しています。



他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ インテル、Celeron は Intel Corporation の登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

お読み替えガイド

初 版 2005 年 1 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

 **株式会社 日立製作所**

インターネットプラットフォーム事業部

〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地

お問い合わせ先: 安心コールセンター 0120-8855-96

© Hitachi,Ltd.2005.All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。